

「防災教育テキスト」を活用した防災教育

学校名	柳井市立柳井中学校	実施時間	学級活動
-----	-----------	------	------

1 ねらい

- 地震発生による火災や津波への対処方法を身に付けさせるとともに、災害から命を守るための備えを日頃から行っておくことの大切さを理解させる。
- ハザードマップで柳井市の危険箇所や避難場所を確認させ、災害発生時に安全な範囲内で一般の人々と協力し救出活動を行うなど、自分ができることを行おうとする態度を育てる。

2 展開

学習内容・活動	教師の働きかけ	指導上の留意点
<p>1 地震発生から火災を想定した第一次避難をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物の中にいるときの正しい方法（机の下に身を隠すなど） ・火災から身を守るための避難経路や避難場所（グラウンドなど） 	<ul style="list-style-type: none"> ・「防災教育テキスト」2ページを使い、安全な場所で安全な体勢をとることの大切さを伝え、全員が身を守っているかを確認する。 ・「お・は・し・も」を徹底させ、全員が安全に避難していることを確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・慌てず、冷静に行動するよう指示するとともに、私語や真剣さに欠ける行動がないよう注意深く見守る。 ・生徒の肩を一人ずつたいて、人数確認を行う。 ・生徒の避難の様子を観察・評価し、生徒の適切な振り返りにつなげる。
<p>2 地震による津波を想定した第二次避難をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二次避難方法、経路 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の安全が確保できたら、家族や近隣住民の安全確認確保に努めるよう指示する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安全な範囲内で救出活動等自分ができることに努めることが、中学生に求められる態度であることを伝える。
<p>3 防災アドバイザーによる講話を聴く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難の様子についての指導 ・ハザードマップをもとにした、柳井市の危険箇所や避難場所 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然災害から命を守るための備えにハザードマップが有効であることを伝え、その入手方法と活用方法を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練に関する指導内容を、事後指導に生かす。
<p>4 振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 災害への備えや発生時の対処方法 <input type="checkbox"/> 柳井市の危険箇所や避難場所の把握 <input type="checkbox"/> 自分の身を守るだけでなく、安全な範囲内での救出活動等への協力 	<ul style="list-style-type: none"> ・左記3点について自己評価させ、本時の学習活動を振り返らせる。 ・本時の学習を受け、「防災教育テキスト」P7を使って、家族で確認するよう指示する。 <input type="checkbox"/> 日頃からの備え <input type="checkbox"/> 家族の中での自分の役割 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時における対処方法だけでなく、地域の安全に貢献し、住民の一人として自覚ある行動がとれるかどうかという点について評価を行い、事後指導につなげていく。



【津波を想定した高台（琴石山）への避難】



【柳井市ハザードマップを使った
防災アドバイザーによる講話】